

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールA（Seminar of Study A）		
ナンバリングコード	L31204	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120409	クラス名	中西研究室
担当教員名	中西 章敦		
履修上の注意、 履修条件	実施日は履修者と調整のうえ決定します。 外部協力者との調整により変更となる場合がありますが、その場合は講義内でお知らせします。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	講義内で適宜紹介します。		
関連科目	教育科目・専門科目全般		

○基本情報		
授業の目的	4年次に実施する卒業研究に向けて、研究室で取り扱っている研究テーマを学習、経験するとともに、研究フィールドを経験しながら研究、実験、調査、分析の手法を学び、自身の研究テーマの方向性を決定していきます。 土木、環境の仕事を理解し、自身の進路の決定に役立てるとともに、業界の活性化について考えていきます。 本講義はディプロマポリシーにある「変化する現代社会の中で、地球規模から地域の環境・景観、身の周りの暮らしに至るまでの諸問題を理解」することを目的としている。	
	大分県内の土木事業および環境事業の実際の現場に出向き、行政関係者やNPO、地域住民と問題の共有を行い、解決の方向性についてゼミナール形式で質疑応答、討論を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー I：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	中西章敦（大分県庁土木建築部において大分県の道路・河川・地域づくりに関する行政に従事） 「大分県内の実際の諸問題の現場をテーマに取り上げる実習」	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】	① 地域・現場における問題に関心を持ち、意欲を持って課題解決に取り組むことができる。			30点
【知識・理解】	② 課題・問題・解決の方向性の把握ができ、その調査、分析方法の基礎が理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③ 現場活動において、協力団体や地域関係者とのコミュニケーションをとることができる。			20点
【思考・判断・創造】	④ 実際の現場における、背景・現状・課題・問題点・解決の方向性を把握できる。		10点	20点
○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）				
ゼミナールおよび地域活動への参加（出席）を基本とします。（30点） 知識と理解に加え、自身の考え方をとうレポートを課します。（30点） 地域活動でのコミュニケーションをはじめとする取り組み状況を評価します。（20点） テーマについての発表を評価します。（20点） 課題のフィードバックは、次回以降の講義内で行います。				

○その他

